

NACCS業務資料 海上編(簡略版) 【保税】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

2019年 秋期

輸出貨物業務（保稅蔵置場）

- 貨物情報を基本とした輸出貨物処理
【在来船の在来貨物の場合】 3
- 貨物情報を基本とした輸出貨物処理
【コンテナ貨物の場合】 4
- 保稅蔵置場 搬出入業務の流れ 5
- BIC：搬入確認登録（輸出未通関） 7
- BID：搬入確認登録（輸出許可済） 9
- BIF：輸出貨物情報訂正 11
- 輸出貨物搬出業務について 13
- BOC：搬出確認登録（輸出許可済） 14
- バンニング情報登録の種類 15
- VAN：バンニング情報登録（コンテナ単位） 16
- VAE：バンニング情報登録（輸出管理番号単位） 17
- 【注意】経由地バンニング 18
- VAD：バンニング情報訂正 19
- VAA：バンニング情報追加 20
- VAC：バンニング情報取消 21

輸入貨物業務（保稅蔵置場）

- 貨物情報を基本とした輸入貨物処理
【在来船の在来貨物の場合】 23
- 貨物情報を基本とした輸入貨物処理
【コンテナ貨物の場合】 24
- 保稅蔵置場 搬出入業務の流れ 25
- BIA：搬入確認登録（保稅運送貨物） 27
- 【注意】BIA：搬入確認登録（保稅運送貨物） 29
- BOA：搬出確認登録 30
- SAI：輸入貨物情報訂正 31

主な照会業務

- ICG（貨物情報照会） 33
- ICN（コンテナ状況照会） 37
- 業務リンク機能について 39

問合せ事例集

- コンテナ単位でBIAする際の搬入識別の入力方法について . . . 41
- 税関による「MEK：減却承認」後の処理について 42
- 輸出許可後、一部不積みとなった場合の対応について . . . 43
- BOC(搬出確認登録(輸出許可済))後、搬入方法について . . . 44
- 管理資料の取得方法について 45

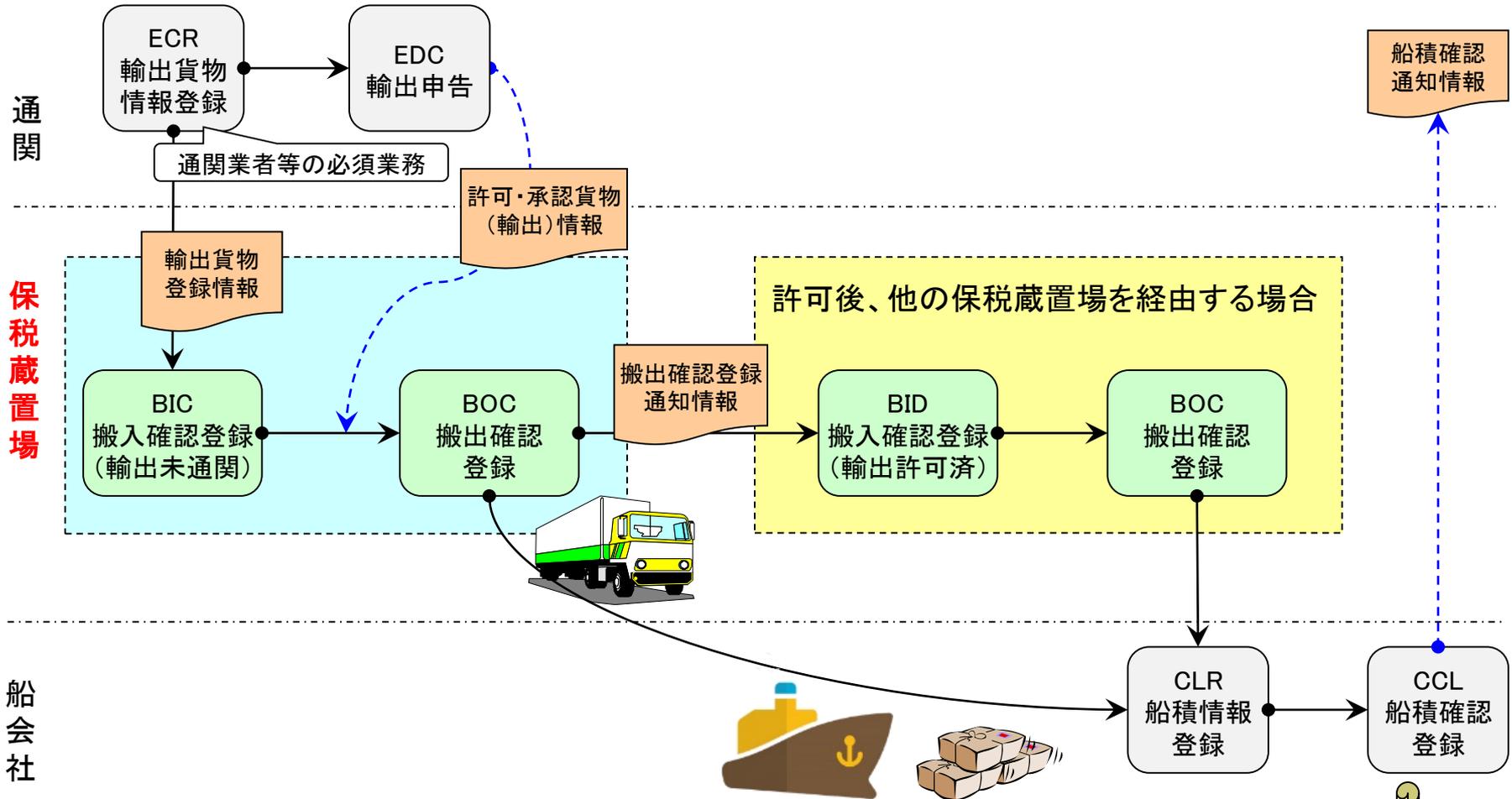
保稅管理資料保存サービス

- 保稅管理資料保存サービスについて 47

輸出貨物業務（保税蔵置場）

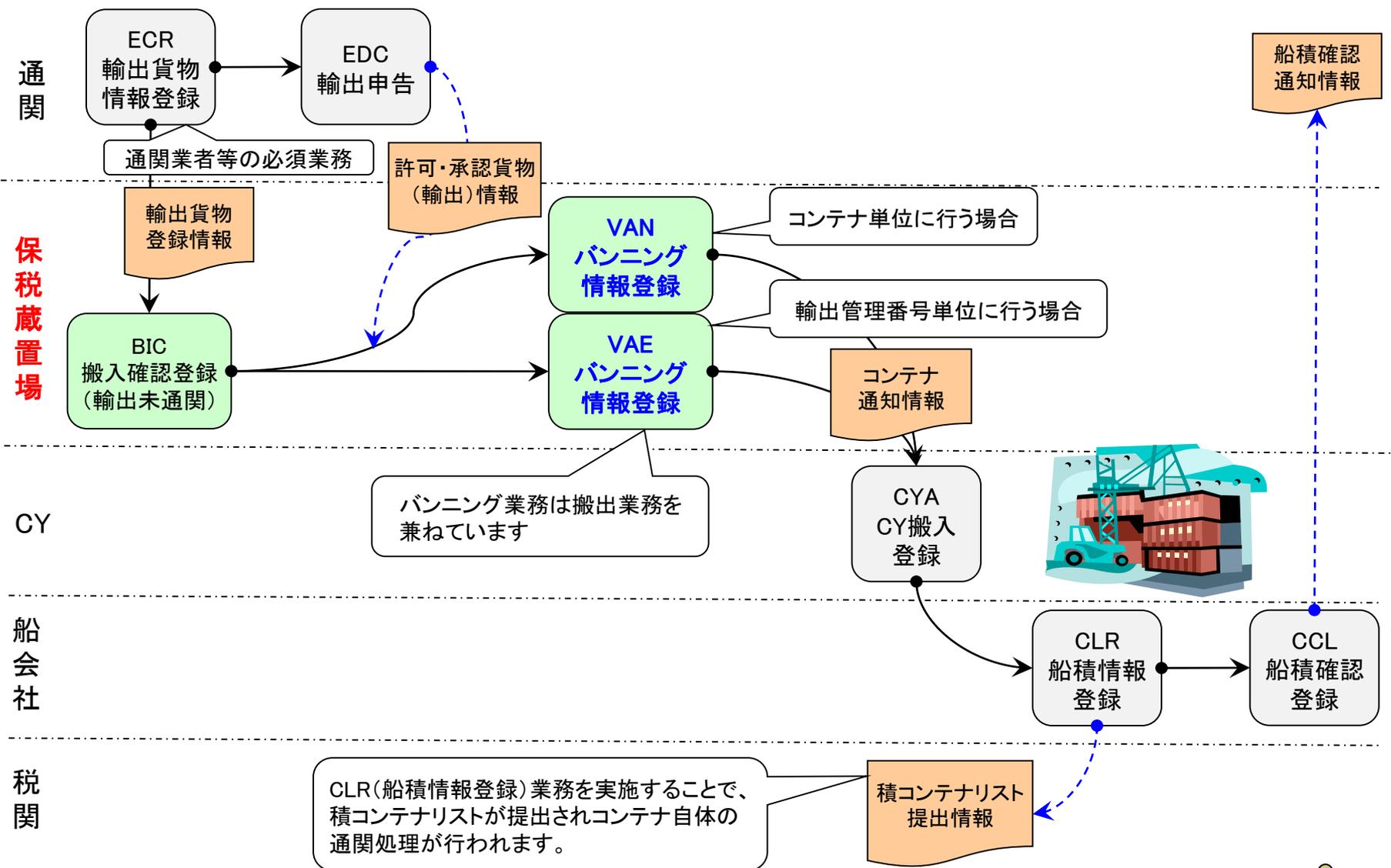
貨物情報を基本とした輸出貨物処理【在来船の在来貨物の場合】

～ NACCS(海上システム)は、輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有利用します。～

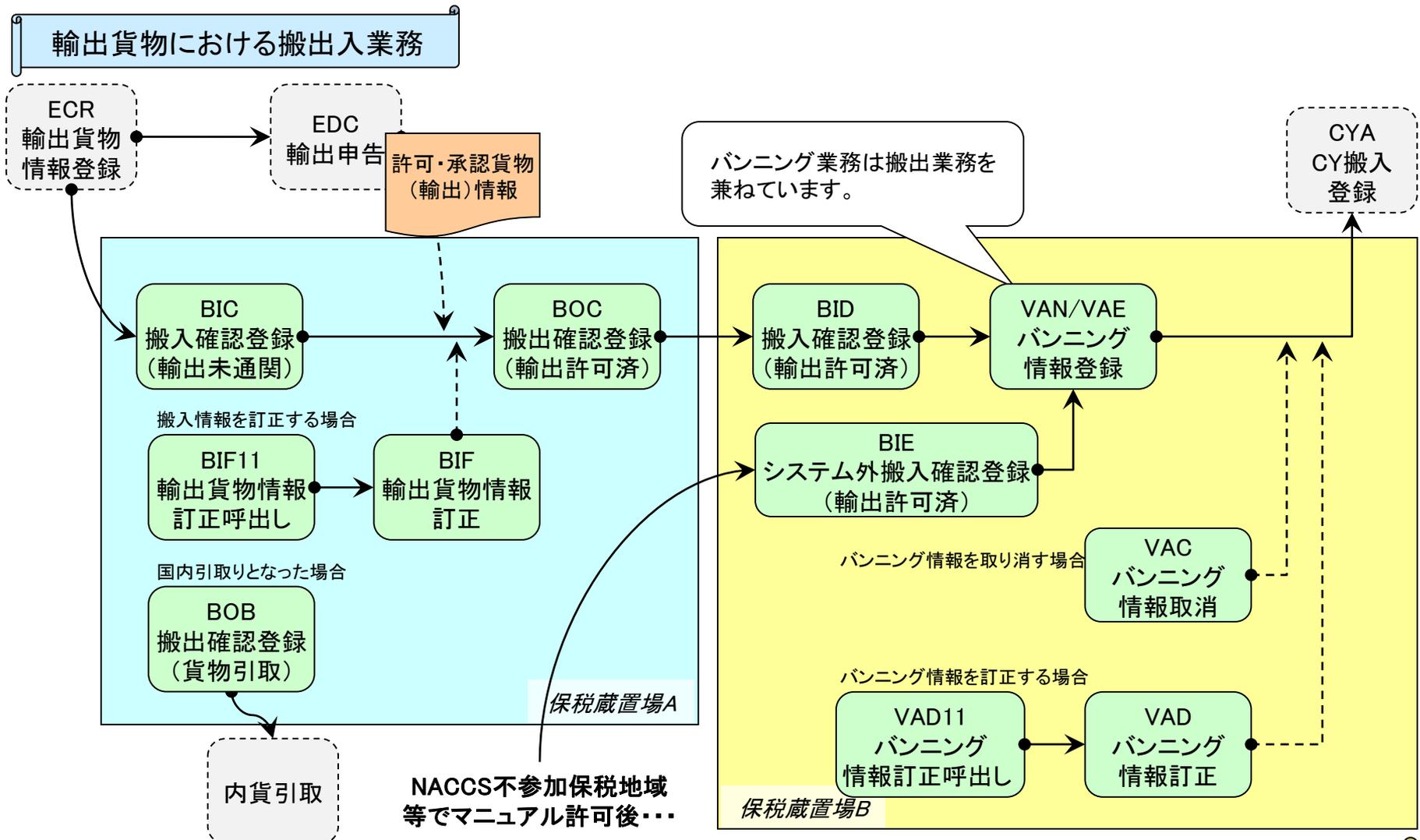


- ・貨物を輸出しようとする場合には、通関業者等によるECR(輸出貨物情報登録)業務が必須です。
- ・保税蔵置場は、貨物の搬入確認登録(BIC,BID等)、及び搬出確認登録(BOC等)を行います。
- ・輸出貨物の情報は、CCL(船積確認登録)業務で、システム上完結します。

貨物情報を基本とした輸出貨物処理【コンテナ貨物の場合】



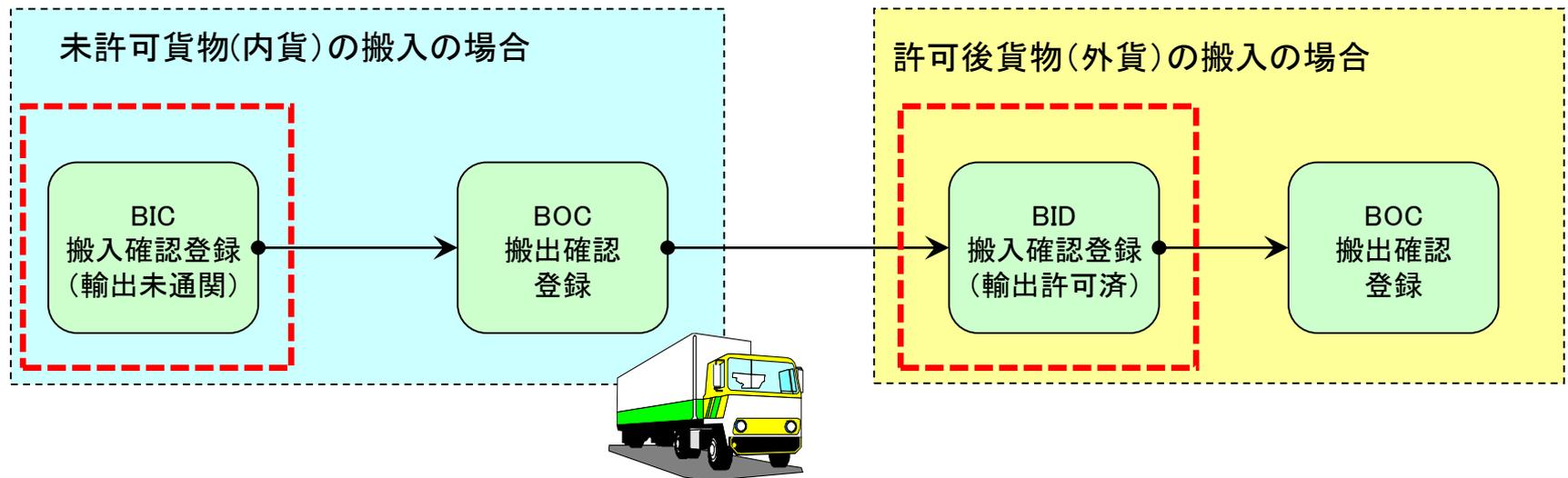
コンテナ貨物の場合、VAN/VAE(バンニング情報登録)業務は、輸出貨物とコンテナを関連付ける重要な業務であり、必須業務となります。



保税蔵置場の管理資料として、貨物の搬出あるいは輸出許可情報が登録された日の翌週に、「輸出貨物搬出入データ(G02)」が出力されます。

保税蔵置場で実施する輸出貨物の搬入業務

保税蔵置場



BIC: 搬入確認登録(輸出未通関)



通関・海貨

通関

ECR
輸出貨物
情報登録

必須

保税蔵置場

対査確認

輸出貨物
登録情報

EDC
輸出申告

BIC
搬入確認登録
(輸出未通関)

輸出許可

許可・承認貨物
(輸出)情報

ECR 輸出貨物登録情報 出力情報

輸出貨物登録情報

搬入予定先	1HB07 - ZOUCI-B07
搬入予定年月日	2012/02/15
IN - S / I 番号	
輸出管理番号	0000405411
登録者	1ATB0
輸出者	P005A555-0000
輸出者名	NACCS SYOUJI CO., LTD.
申告予定者	1ATB0
貨物識別	
品名	VEGETABLE PRODUCTS
個数	100 - 100 - BG
単位	,000.000 - 1,000.000 - KGM

BIC(搬入確認登録 (輸出未通関)) 入力画面

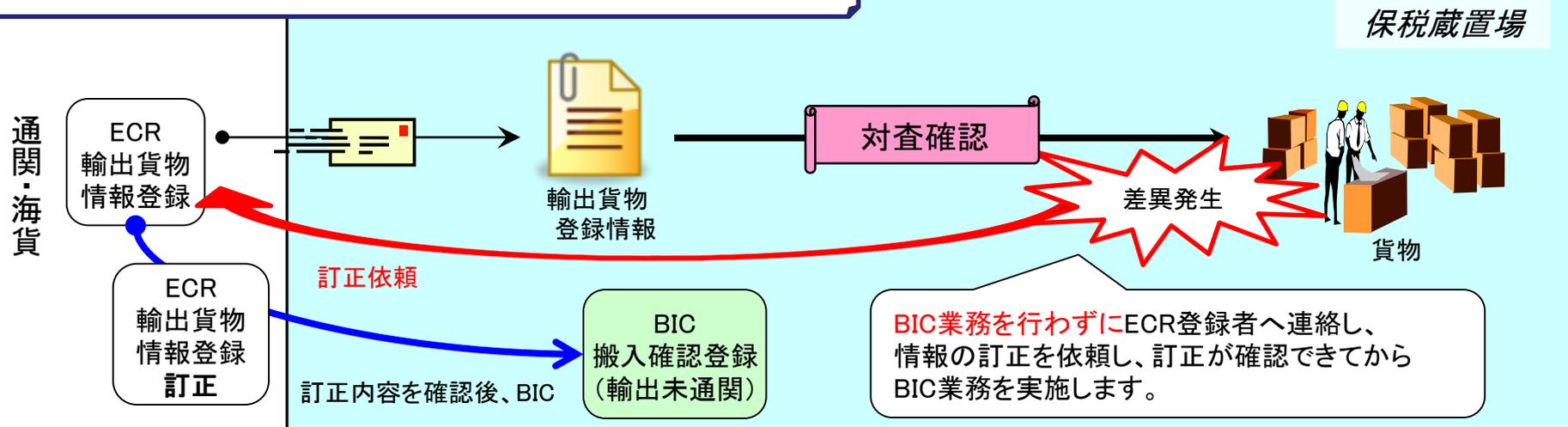
輸出管理番号*	0000405411
搬入場所	
搬入日時*	2012/02/15 - 18:00
搬入個数*	100 - BG
危険貨物等	
事故税関通知識別	
事故	1 2
保税運送承認番号	
ブッキング番号	
記事	

「搬入日時」は入力日より過去の日であれば登録可能
※搬入日時の「時間」は任意

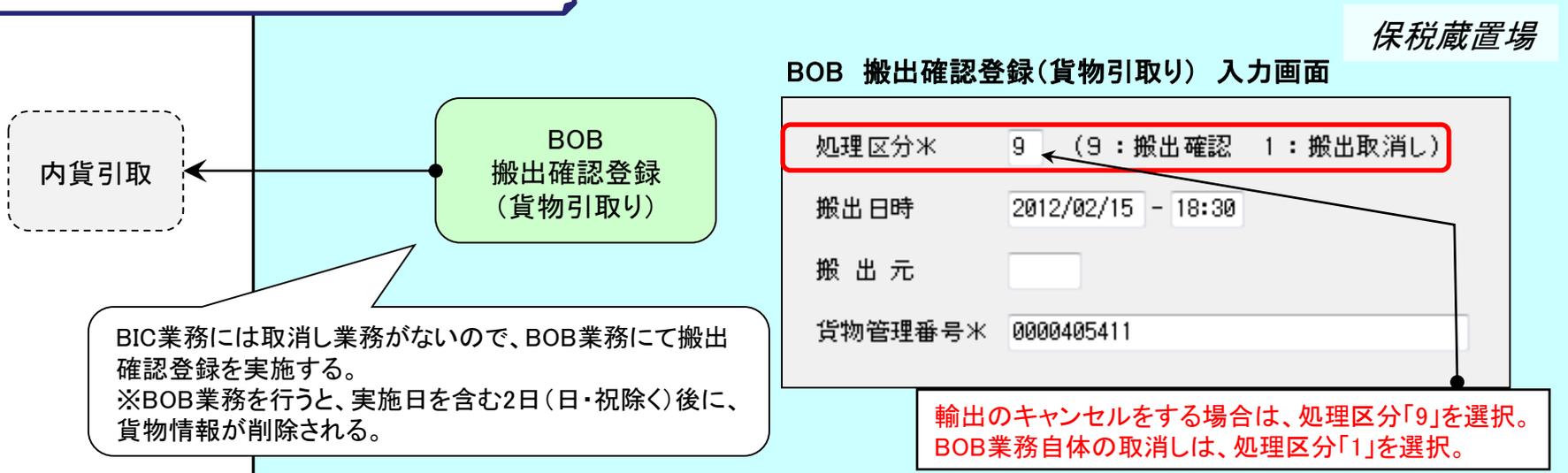
搬入が数日間に渡って行われた場合は、最後に搬入された日の日付を登録

本業務の入力は、基本的に「輸出管理番号」、「搬入日時」、「搬入個数(単位)」の必須項目を入力するのみとなっています。

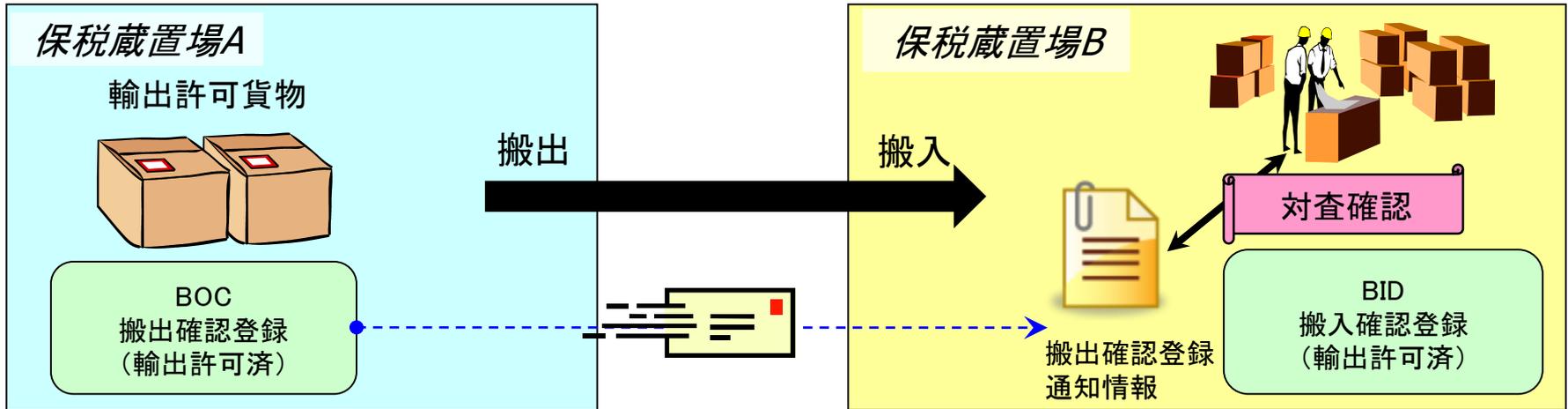
① ECR(輸出貨物登録情報)と搬入貨物の個数等が合致しなかった場合



② 搬入した貨物の輸出がキャンセルになった場合



BID: 搬入確認登録(輸出許可済)



BID(搬入確認登録 (輸出許可済)) 入力画面

「T:一括」の場合

処理単位* T (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時* 2012/02/16 - 14:00

「T:一括」の場合は
必須入力

BOC(搬出確認登録(輸出許可済))業務で、
搬出された全ての貨物を一度に搬入する場合は「T:一括」、
一部の貨物を搬入する場合は「K:個別」を入力する。

搬出番号は、以下2通りの欄に表示されます。

- ①ICG(貨物情報照会)業務の指定情報「TRN:搬出入情報」の許可承認番号欄
- ②BOC業務実施の際、出力される帳票「搬出確認登録通知情報」の左側最上部

「K:個別」の場合

処理単位* K (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時* 2012/02/16 - 14:00

搬出元が、システム不参加蔵置場である場合には入力不要

搬入日時が輸出管理番号毎に異なる場合は、「K:個別」で BID業務を実施する。

輸出管理番号

発送個数

到着個数

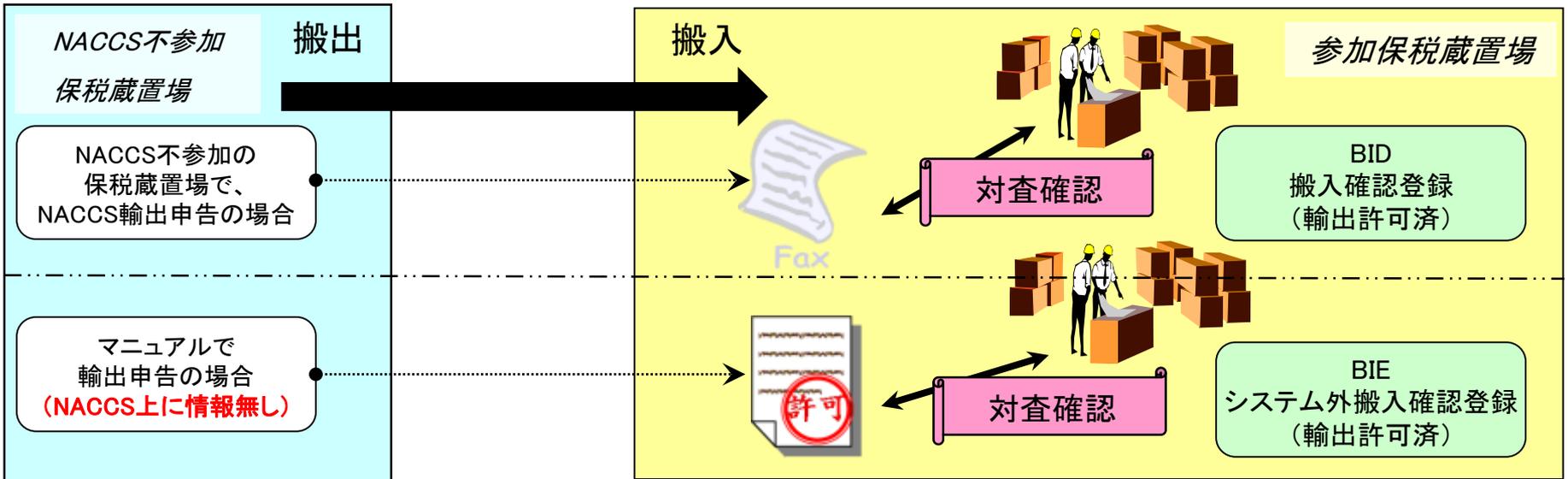
税関通知識別

事故コード

01 0000405411

100

「K:個別」の場合は
必須入力。



NACCS不参加保税蔵置場(地域)で、
NACCSシステムで輸出申告された場合は「BID」業務、
マニュアルで輸出申告された場合は「BIE」業務を行います。

BIE システム外搬入確認登録(輸出許可済) 入力

輸出許可番号*	13676243550		
搬入日時*	2017/08/15 - 09:00		
積戻し許可	<input type="checkbox"/>		
発送個数		到着個数*	100 - BG
重量*	1000.000 - KGM	容積	<input type="text"/> - <input type="text"/>
輸出者	8634567890123-0000		
輸出者名	<input type="text"/>		
品名*	VEGETABLE PRODUCTS		
船会社	SAKA	積載予定船舶*	9999 - NACCS MARU 航海番号 100
入港日	2017/08/14	積出港*	JPTYO 出港日 2017/08/20 船卸港 USLAX
荷受形態*	51	荷渡形態	51
社内整理番号	<input type="text"/>		
記号番号*	NACCS IN DIA		
最終仕向地*	USLAX	ブッキング番号	<input type="text"/>
事故税関通知識別	<input type="checkbox"/>		

貨物を搬入した(BIC業務)後に
個数・重量・容積等の訂正があった場合！

BIF(輸出貨物情報訂正)入力画面

輸出管理番号*	0000405411						
訂正理由*	▼						
蔵置場所	1HB07						
輸出者	8634567890123-0000						
輸出者名							
申告予定者	1ATB0						
品名*	VEGETABLE PRODUCTS						
総個数*	100	- BG	総重量*	1000.000	- KGM	総容積	
船会社	SAKA	積載予定船舶	9999	-	NACCS MARU		
航海番号	100						
入港日	2017/08/15	積出港	JPTYO	出港日	2017/08/20	船卸港	USLAX
荷受形態*	51	形態	▼				
社内整理番号							
荷主セクションコード							
記事							
最終仕向地*	USLA	積戻許可	可				
搬入日時	2017/08/15	-	09:00				
搬入個数*	100	搬入重量*	1000.000	搬入容積			
記号番号*	NACCS IN DIA						

訂正理由	
1	個数・重量・容積の入力ミス
2	個数・重量・容積のカウントミス
3	税関に事故通知した貨物の訂正のため
4	品名に誤りがあるため
5	貨物の記号番号に誤りがあるため
6	その他の理由のため

BIF11(輸出貨物情報訂正呼出し)入力画面

輸出管理番号*	0000405411
蔵置場所	

入力者が当該貨物が蔵置されている保税蔵置場であれば、入力の省略が可能です。

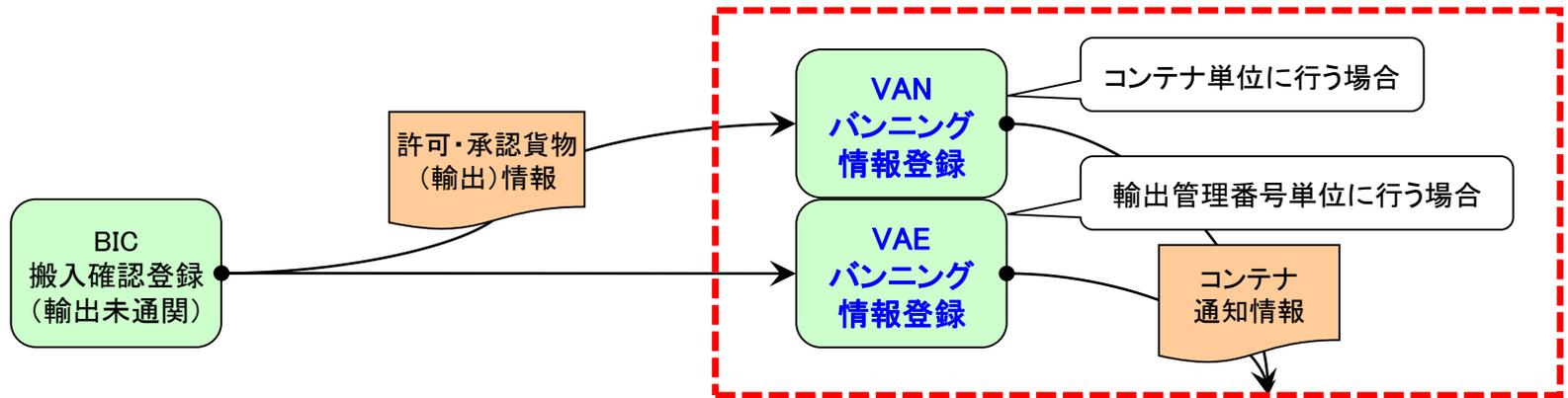
個数訂正の場合は、「総個数」だけでなく「搬入個数」も訂正が必要です。訂正忘れにご注意ください。

本業務を行う際、既に通関業者がEDA(輸出申告事項登録)業務を行っている場合は、通関業者へ輸出申告情報の変更をお願いする必要があります。また、輸出許可後である場合は、許可後訂正が必要となります。

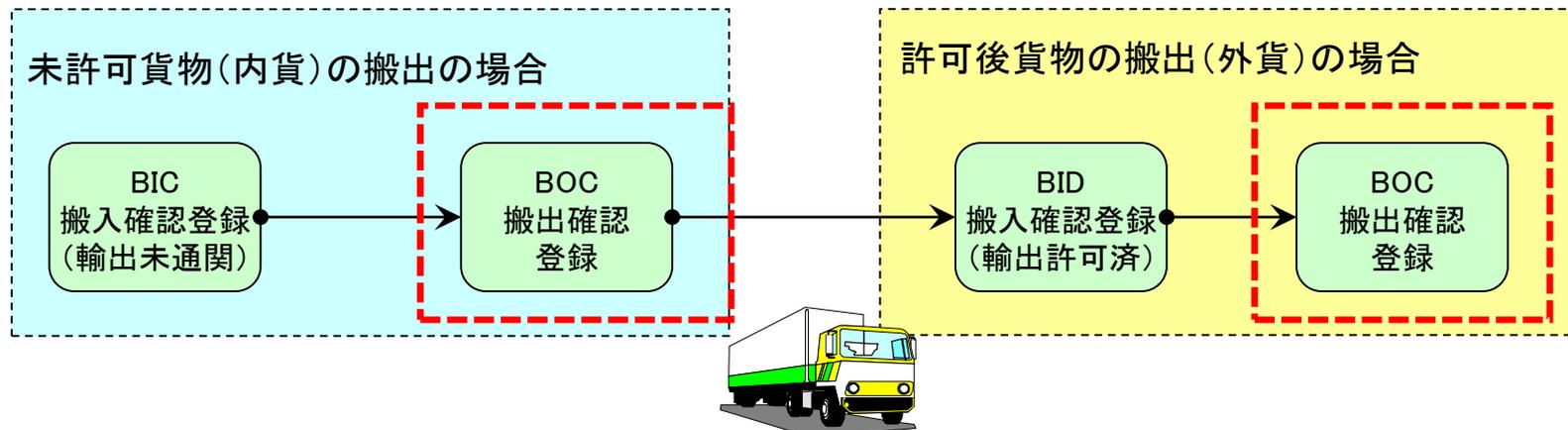
- ・BIF11業務で貨物情報を呼び出してから訂正した方が、入力においてミスを防げます。
- ・本業務は、貨物が当該蔵置場に「蔵置中」の時に、実施が可能です。
- ・本業務送信の結果、「訂正保留」となった場合は、税関に保留解除の依頼をする必要があります。

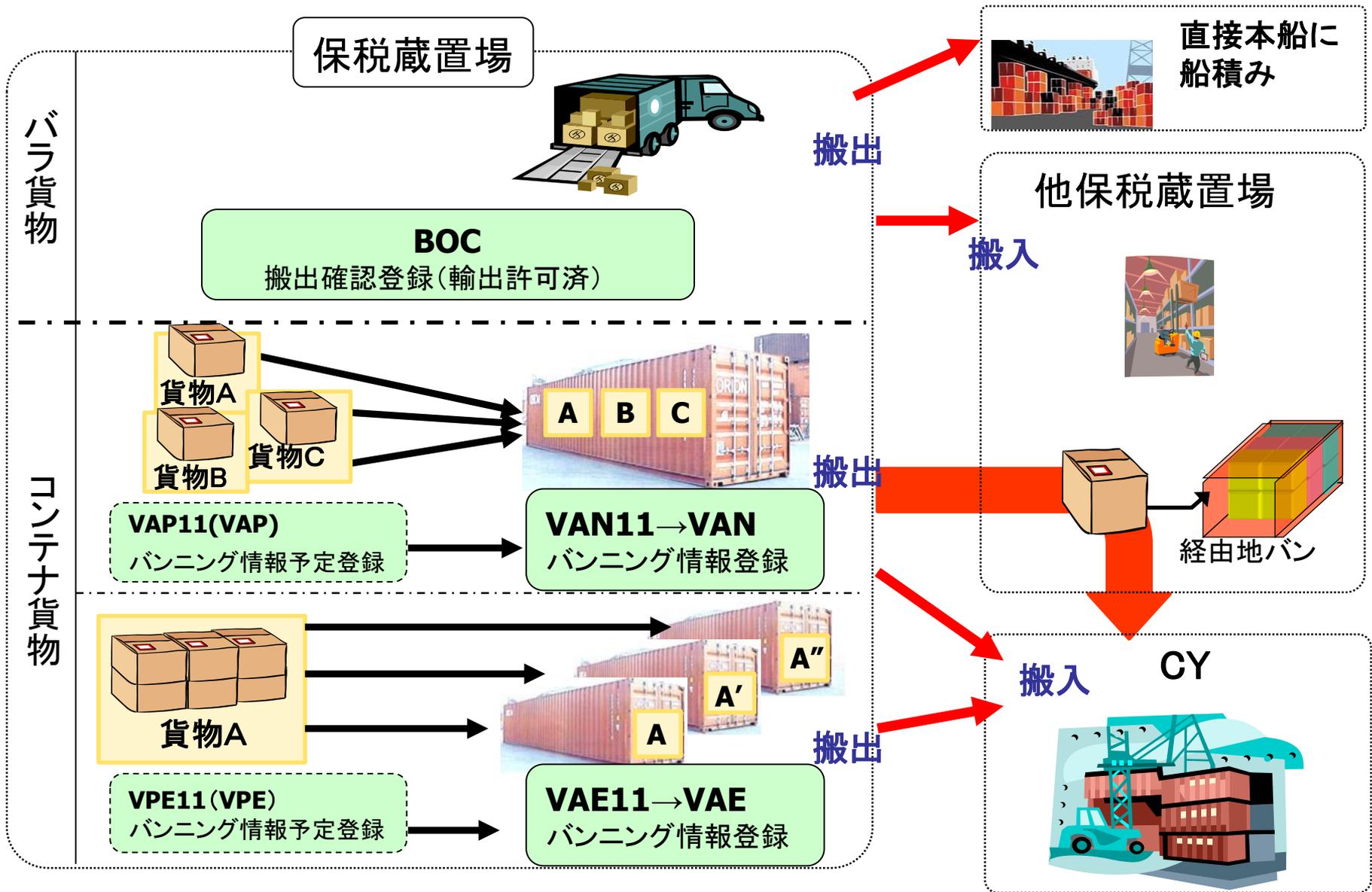
保税蔵置場で実施する輸出貨物の搬出業務

コンテナ扱の場合



バラ扱の場合







BOC(搬出確認登録 (輸出許可済)) 入力画面

処理区分*	9	(9: 搬出確認	1: 搬出取消し (一括)	3: 搬出取消し (個別)
搬出番号		搬出日時	2012/02/16 - 14:00	
発送地		搬入先	1HB00	
船会社		通知先		
運送会社等				
輸出管理番号		発送個数	発送重量	発送容積
01	0000405411	100	1000.000	
02				
03				
04				
05				
06				
07				

- 全ての貨物の搬出を一度に取り消す場合は、「1: 搬出取消し(一括)」を選択します。
- 一部の貨物の搬出を取り消す場合は、「3: 搬出取消し(個別)」を選択します。

- 貨物が次に搬入される保税地域コードを入力する。
- 搬出後、保税地域を経由せずに直接本船へ積む場合は『搬入先』に船舶コード(コールサイン)を入力し、『船会社』欄に船会社コードを入力する。(不明な場合は、『搬入先』と『船会社』の両方に『9999』を入力)

本業務は、登録日より60日間(日・祝含む)取消可能ですが、次の保税蔵置場でBID(搬入確認登録)業務が行われた場合は取消しできません。

バンニング情報登録の種類



バンニング情報登録には、以下の二通りがあります。

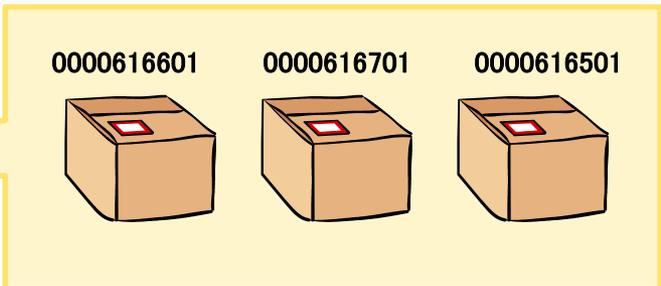
1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

コンテナ番号: TCKU1234567

貨物管理番号:



詰



VAN
バンニング情報登録
(コンテナ単位)

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

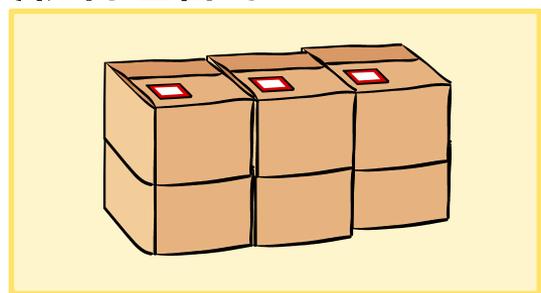
貨物管理番号: 0001357901

コンテナ番号:

ACSN0000001

ACSN0000002

ACSN0000003



詰
詰
詰



VAE
バンニング情報登録
(輸出管理番号単位)

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

VAN11(バンニング情報登録呼出(コンテナ単位))入力画面

コンテナ番号 TCKU1234567 仮コンテナ番号

バンニング場所 1HB00

社内整理番号

輸出管理番号等

001	0000616601	002	0000616701
003	0000616501	004	<input type="text"/>

バンニング予定情報が登録されている場合は、仮コンテナ番号を入力することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

コンテナタイプ

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※サイズの単位:フィート

※温度設定可能なコンテナ

VAN(バンニング情報登録(コンテナ単位))入力画面

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/16 - : -

コンテナ番号* TCKU1234567

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL100 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 -

シール番号欄は必須項目です。コンテナがフラットラックコンテナの場合は、「NIL」と入力する。

共通部 繰返部

1 / 10

001 輸出管理番号等 0000616601
バンニング個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積
ブッキング番号(貨物)

002 輸出管理番号等 0000616701
バンニング個数 2 - CS 重量 100.000 - KGM 容積
ブッキング番号(貨物)

003 輸出管理番号等 0000616501
バンニング個数 1 - CS 重量 50.000 - KGM 容積

1本のコンテナに輸出管理番号100件まで登録可能

- ・搬入先コードは必須入力。搬入先の保税地域コード、または直接本船に船積みする場合は、積載予定船舶コードを入力します。
- ・経由地バンニング時は、経由地コードを入力し、シール番号は入力できません。

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

VAE11(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)呼出)入力画面

輸出管理番号等 0001357901

バンニング場所

社内整理番号

バンニング予定情報呼出し識別

コンテナ番号

01 ACSN0000001 02 ACSN0000002 03 ACSN0000003

04 05 06

バンニング予定情報が登録されている場合は、当該識別「1」を選択することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

※サイズの単位:フィート

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ

VAE(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位))入力画面

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB04

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/16 - _:_

輸出管理番号等* 0001357901

バンニング場所 -

ブッキング番号(貨物単位)* BOOKING200

共通部 **繰返部**

1 / 3

01 コンテナ番号 ACSN0000001

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL01 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング個数 16 - CS 重量 900.000 - KGM 容積

02 コンテナ番号 ACSN0000002

・本業務一回につき、30本までバンニング登録することができます。
30本を超過する場合は、再度、同様の手順で本業務を行ってください。

バンニング後、別の保税蔵置場で同コンテナにバンニングをする場合

保税蔵置場 1HB00 ※始めのバンニング場所



CMTU9876540



保税蔵置場 1HB07 ※次のバンニング場所



CMTU9876540



合積み

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード 1HB07

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/15 - _:_

コンテナ番号* CMTU9876540

コンテナ自重 2200 - KGM

シール番号 1 2 3
4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 1HB00 -

ブッキング番号 (コンテナ) BOOKING100

搬入先コード欄は必須入力。
経由地コード欄に「第2バンニング場所」の保税地域コードを入力

シール番号は入力不可

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/15

コンテナ番号* CMTU9876540

コンテナ自重 2200 - KGM

シール番号 1 SEAL100 2 3
4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 1HB07 -

ブッキング番号 (コンテナ)

「保税蔵置場B」では、通常通り、バンニング登録を行ってください

VAD11(バンニング情報訂正呼出し) 入力画面

処理区分* (5:コンテナ情報の訂正
4:貨物情報の訂正
3:バンニング個数、重量、容積の訂正)
 輸出管理番号等
 コンテナ番号
 バンニング場所

複数コンテナにバンニング登録した場合、訂正したいコンテナ番号を入力する。
 ※貨物情報や個数等の訂正する際は、任意で1本のコンテナ番号を入力する。

※こちらの項目について本業務による訂正を実施する場合、CY搬入の取消が必要となります。

残個数がないときは、残個数「0(ゼロ)」と入力し、重量と容積はblankとする。
 残個数があるときは、残個数、重量、容積を入力する。
 ※こちらの項目についてのみ、CY搬入後でも訂正が可能。

VAD(バンニング情報訂正)入力画面

処理区分* (5:コンテナ情報の訂正 4:貨物情報の訂正 3:バンニング個数、重量、容積の訂正)
 輸出管理番号等
 コンテナ番号
 バンニング場所
 積出港
 コンテナ自重 -
 シール番号
 1 2 3
 4 5 6
 コンテナサイズ コンテナタイプ
 ブッキング番号 (コンテナ)
 ブッキング番号 (貨物)
 バンニング個数 重量 容積
 残個数 重量 容積

区分5:コンテナ情報

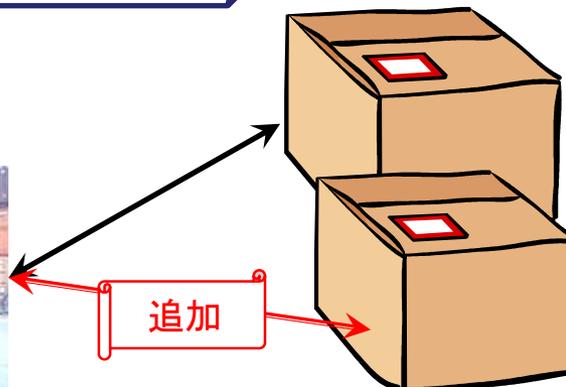
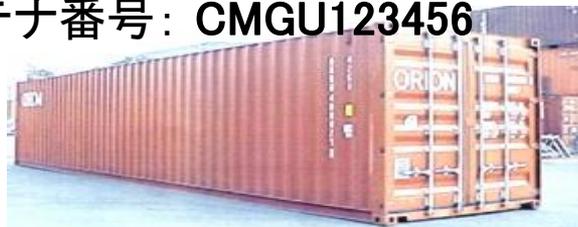
区分4:貨物情報

区分3:バンニング個数、重量、容積

・VAD11業務で登録情報を呼び出し、本業務で必要箇所を上書き訂正します。
 ・CLR(船積情報登録)業務後は、本業務は出来ません。
 ※コンテナ番号の訂正はVAC業務となります。(P21を参照)

1コンテナ番号に対し、輸出管理番号の紐付けを追加したい場合

コンテナ番号: CMGU123456



貨物管理番号: 0000405411

貨物管理番号: 0000406551

VAA11 (バンニング情報追加呼出し) 入力画面

コンテナ番号*	CMGU123456
バンニング場所	
輸出管理番号等*	0000406551



VAA (バンニング情報追加) 入力画面

コンテナ番号*	CMGU123456				
バンニング場所	1HB00 - ZOUCHI-B00				
輸出管理番号等*	0000406551				
バンニング個数*	100 - BG	重量*	1000.000 - KGM	容積	
ブッキング番号 (貨物単位)					

VAN業務またはVAE業務で登録されたバンニング情報に輸出管理番号を追加する場合は、本業務にて行います。
また、1輸出管理番号にコンテナ番号の紐付けを追加したい場合は、VAE業務にて行います。

VAC(バンニング情報取消) 入力画面

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

【バンニング情報取消しの入力パターン】

	コンテナ番号単位の一括取消し※	輸出管理番号単位の一括取消し※	輸出管理番号等の取消し	コンテナ番号の取消し
1 コンテナ番号	○	×	○	○
2 輸出管理番号等	×	○	○	○
3 バンニング場所コード	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)
4 バンニング場所地域名	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)

※輸出管理番号とコンテナ番号とが1対1の時は、輸出管理番号とコンテナ番号のどちらかを入力する。

- : 必須項目
- △: 任意項目
- ×: 入力不可項目

【コンテナ番号の訂正パターンと留意事項】

●CFS通関、CY通関(未申告の場合)

・本業務を使用してコンテナ番号を取り消し、正しいコンテナ番号で、再度VAN業務またはVAE業務をする必要があります。

VAC→VAN/VAE

※既にCY搬入済であっても、CY輸出申告前、又は船積登録前であれば、本業務は可能です。

ただし、コンテナ番号単位及び輸出管理番号単位での「一括取消し」はできません。

●CY通関(輸出申告済または輸出許可済の場合)

・税関業務の入力が必要になります。

輸出申告済: PAE「TEK(輸出等申告撤回)」→VAC→VAN/VAE

輸出許可済: PAE「CEP(輸出取止再輸入許可)」→VAC→VAN/VAE

●コンテナ搬入(CYA)後に特定輸出許可となった場合

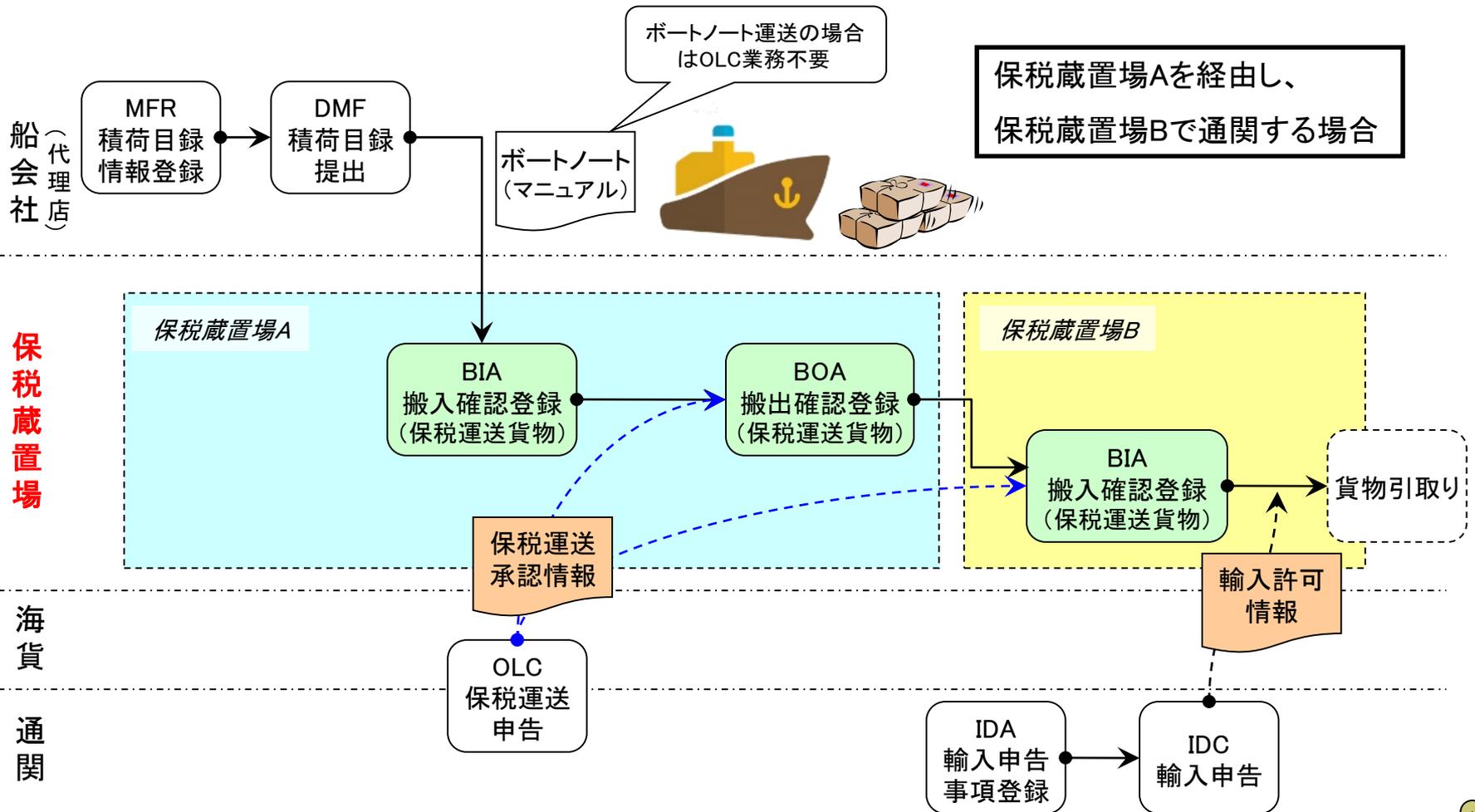
・税関業務の入力が必要になります。

PAE「TOK(特定輸出許可取消し)」→CYO「9: 搬出確認」後、ECRからやり直し

本業務を行う時は、CYに必ず連絡した上で行うようにしてください。

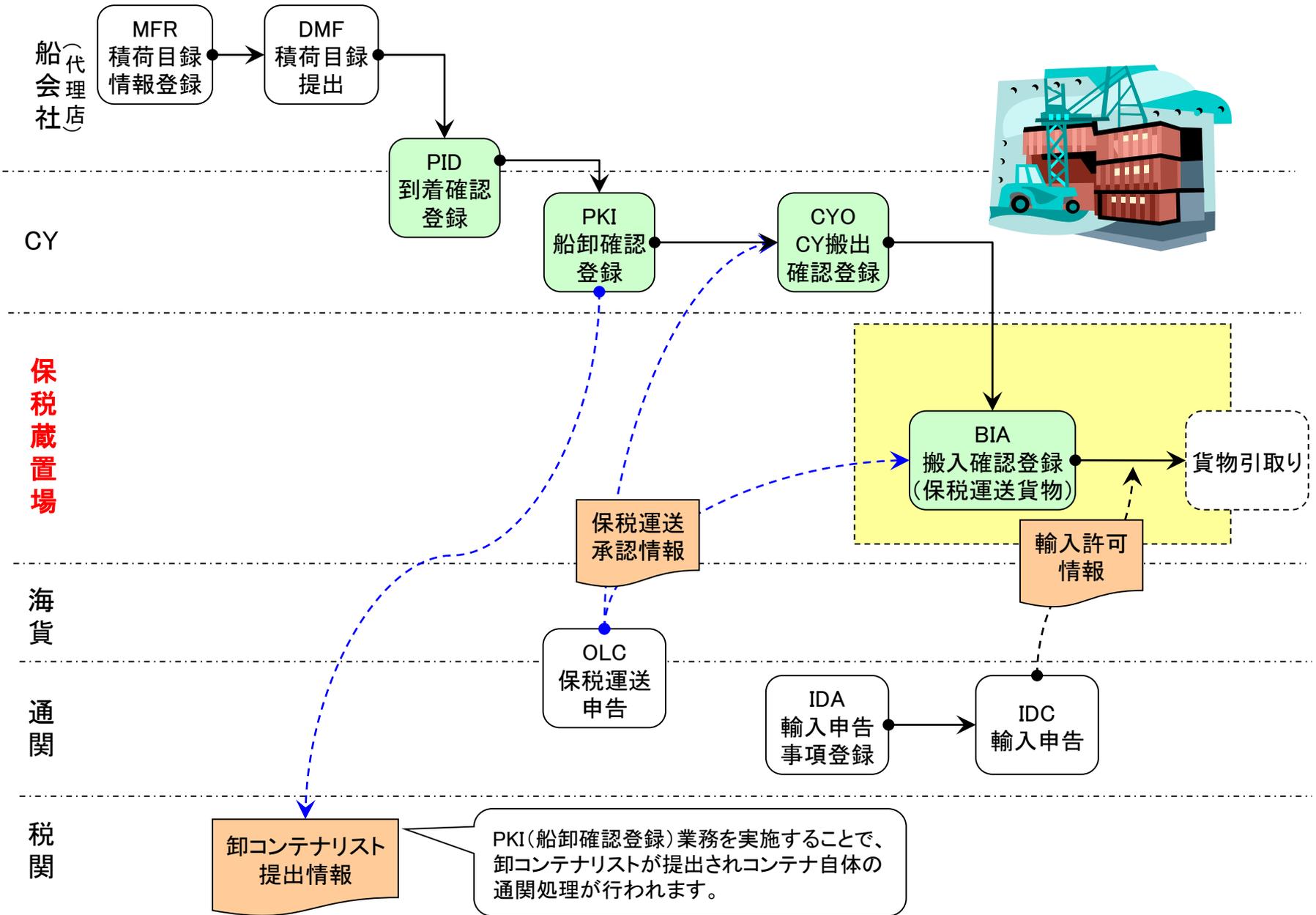
輸入貨物業務（保税蔵置場）

～ NACCS(海上システム)は、輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有利用します。～



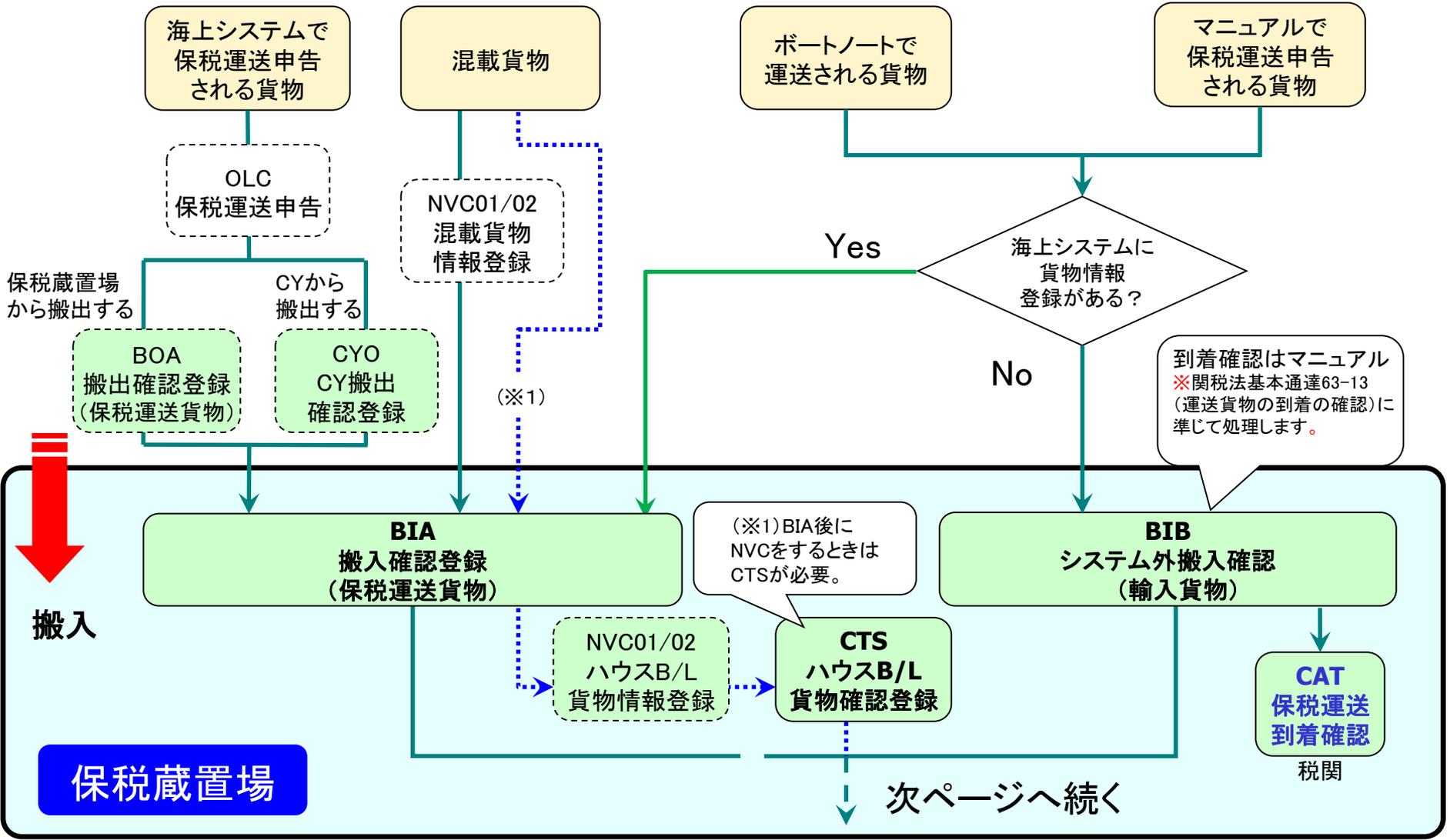
輸入通関する保税蔵置場に貨物を搬入する時は、保税蔵置場のNACCS参加・不参加にかかわらず、貨物の搬入(または到着)情報をシステム登録する必要があります。(※NACCS参加蔵置場はBIA(搬入確認登録)業務を行いません。またNACCS不参加蔵置場は、書類を税関窓口に持参し、税関によるSAT(保税運送到着確認)業務を依頼します。)

貨物情報を基本とした輸入貨物処理【コンテナ貨物の場合】



PKI(船卸確認登録)業務を実施することで、卸コンテナリストが提出されコンテナ自体の通関処理が行われます。

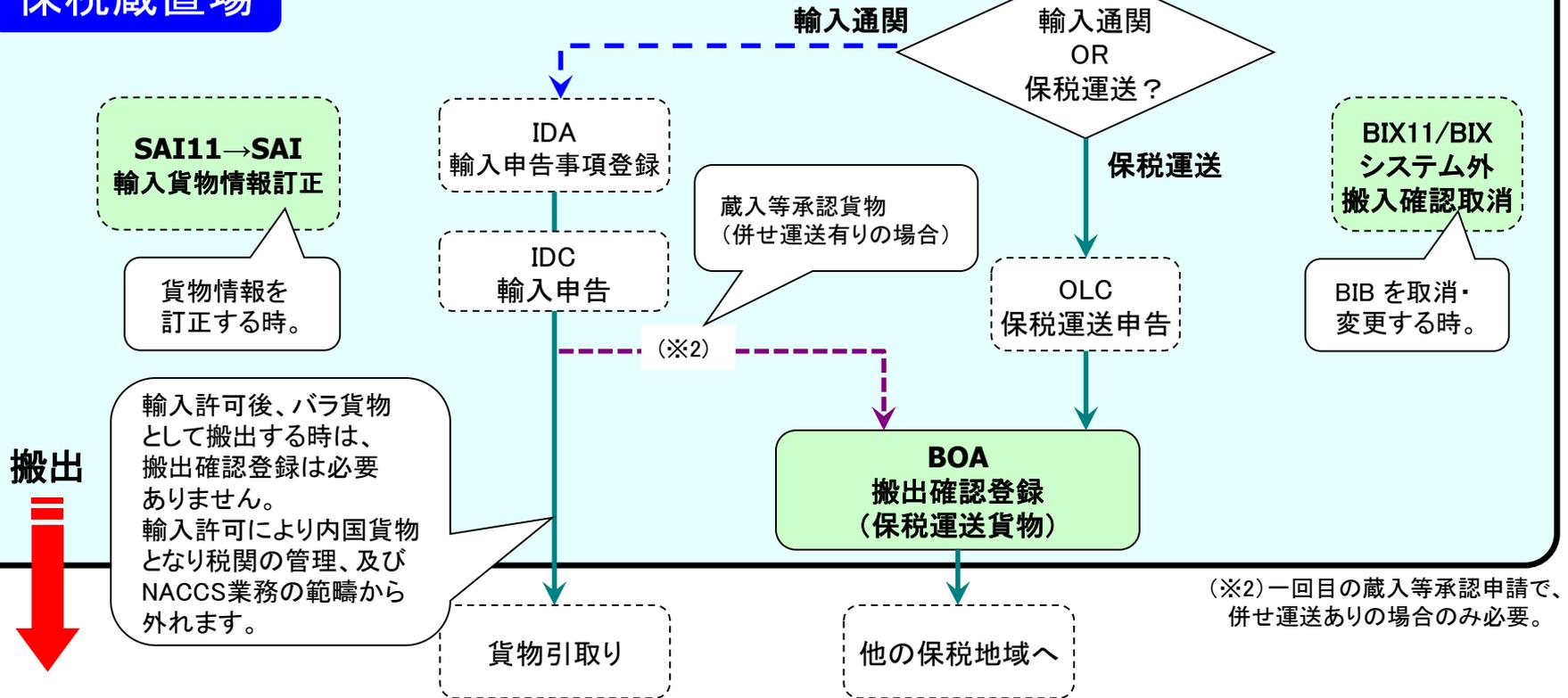
輸入貨物における搬出入業務



輸入貨物における搬出入業務(続き)

前ページから続く

保税蔵置場



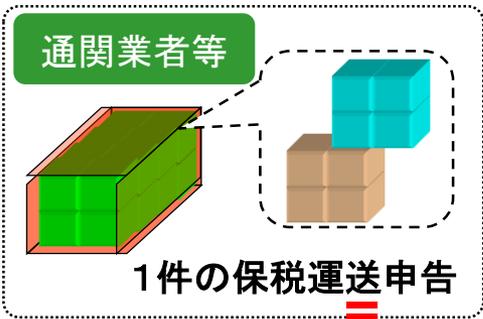
(※2)一回目の蔵入等承認申請で、併せ運送ありの場合のみ必要。

保税蔵置場の管理資料として、貨物の搬出あるいは輸入許可情報が登録された日の翌週に、「輸入貨物搬出入データ(G01)」が出力されます。

BIA: 搬入確認登録 (保税運送貨物) ~輸入貨物の搬入業務~



BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面



BIA

搬入日時* 2012/02/17 - _:_

搬入識別* A ← 搬入蔵置場

1 番号 15000075850

到着个数 - 重量 - 容積 -

記号番号

通知識別

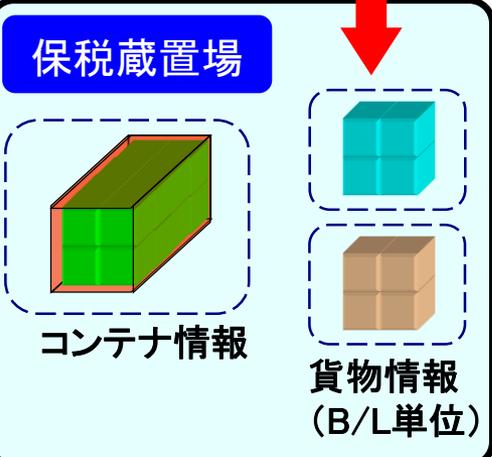
記事

事故 1 2 3 4 5

選択する「搬入識別」により、入力必須項目あるいは入力不可項目が異なります。

搬入識別が「C」、及び「D」の場合は必須入力

選択する「搬入識別」により、入力する番号が異なります。



搬入識別	
【一回に登録する件数や事故通知の有無などによって識別を使い分けます。】	
A	保税運送申告番号で登録するとき (一度に登録できるのは1申告)
B	コンテナ番号で登録するとき (一度に登録できるのは1コンテナ)
C	B/L番号で登録するとき (一度に登録できるのはB/L20件まで)
D	ポートノート搬入貨物または揚地詮議有りの貨物のとき (B/L番号を入力。一度に登録できるのは20件まで)
E	コンテナ検査後に運送指定され到着する貨物のとき (輸入申告番号を入力。一度に登録できるのは1件)

BIA業務で登録した情報を訂正するには、SAI11業務で貨物情報呼び出した上で、SAI業務「輸入貨物訂正」を行います。(注:一部SAI業務では訂正できない項目もあります。)
 なお、BIA業務は取り消すことができないので、取消しが必要な場合は税関にご相談ください。

・OLC業務にて保税運送申告された貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務を行います。
 ・本業務によりコンテナ情報と貨物情報が切り離されます。(本業務は**デバンニングの搬入**です。)

【搬入確認登録(BIA)業務の入力パターン】

保税運送貨物で
事故あり

パースからの
保税運送貨物

	保税運送申告番号単位	コンテナ番号単位	B/L番号単位	ポートノート、揚地詮議有貨物	コンテナ検査
1 搬入年月日(システム日より過去1年)	○	○	○	○	○
2 搬入時刻	△	△	△	△	△
3 搬入識別	A	B	C	D	E
4 搬入確認蔵置場(入力者と異なる場合)	△	△	△	△	△
5 搬入確認する番号	○(保税運送申告番号)	○(コンテナ番号)	○(B/L番号)	○(B/L番号)	○(輸入申告番号)
6 到着個数、個数単位コード	×	×	○	○	×
7 重量、重量単位コード	×	×	×	○	×
8 容積、容積単位コード	×	×	×	○	×
9 危険貨物等コード	×	×	△	△	×
10 記号番号	×	×	△	△	×
11 事故税関通知識別コード、事故コード	×	×	△	△	×
12 記事	×	×	△	△	×

○: 必須項目 △: 任意項目 ×: 入力不可

入力例<保税運送申告番号単位「A」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_: 搬入識別* A 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 15000057210

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<B/L番号単位「C」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_: 搬入識別* C 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0TH0123456789

到着個数 101 - CT 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 OVER 2 [] 3 [] 4 []

記事 事故あり(個数1カートオーバー)

入力例<コンテナ検査「E」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_: 搬入識別* E 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 11387934450

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<コンテナ番号単位「B」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_: 搬入識別* B 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0LCUT987650

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<ポートノート、揚地詮議有貨物「D」>

搬入日時* 2011/01/21 - _:_: 搬入識別* D 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0TH09876543210

到着個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積 1000.000 - MTQ 危険貨物 []

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 CYTRN 2 [] 3 [] 4 []

記事 事故あり(外装破れ)

※揚地詮議有貨物
貨物の数量が揚地(本邦輸入地)の保税蔵置場に
搬入の際に確定する貨物のこと。

搬入確認時に事故(不足・破損等があった場合)のBIA業務

BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時* 2012/02/17 - __:__ 搬入識別* C 搬入蔵置場

1 番号 SAKA1234567890

到着個数 998 - BG 重量 容積 危険貨物

記号番号

通知識別 Z

事故 1 SHORT 2 WETTO 3 4 5

記事

「搬入識別」
CまたはDの場合のみ
事故通知が可能

「通知識別」
税関への通知を要する
事故か否かを入力する
要する :Z
要しない:M

「事故」
OVERR(数量超過)
DENTE(へこみ)
BROKN(破損)など
(NACCS掲示板の
NACCS業務関連コード
「事故種別コード」参照)

税関に事故通知

税関(保税部門)

税関で事故確認

保税蔵置場

不足!
破損!

搬入



事故通知...

事故貨物確認情報



- ・事故通知が必要な場合、搬入識別にA,B,及びEは選択できません。(CまたはDのみ事故通知が可能)
- ・本業務で税関に事故通知(Z)をした場合、貨物情報は保留状態となり、税関でのDMC(事故確認登録)業務が行われるまで、後続業務(輸入申告・保税運送申告等)ができません。



BOA(搬出確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

処理区分*	9 (9: 搬出確認 1: 搬出取消し)
搬出日時	2012/02/17 - __: __
発送地	
貨物管理番号	1 SAKA1234567890
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17
	18
	19
	20

「搬出日時」
 全量搬出したことを確認してから登録すること。
 搬出日が複数日にまたがった場合、最後に全量搬出された日を搬出日時とする。

「発送地」
 発送地が入力者の管理する保税地域である場合のみ省略可能

「貨物管理番号」
 B/L番号または輸出管理番号を入力
 1回のBOA業務で20件まで登録可能

本業務の取消しは、
 処理区分「1: 搬出取消し」にて行う。
 貨物管理番号単位での取消しが可能です。
 但し、到着地保税蔵置場で搬入がされている場合は、取消が出来なくなります。

コンテナ詰めされていないバラ貨物を保税運送申告後に搬出する場合は、本業務を行います。
 (コンテナ詰めされている貨物をCYから搬出する場合は、CYO(CY搬出確認登録)業務になります。)

SAI11(輸入貨物情報訂正呼出し)入力画面

B/L番号* OTH01234567890

必ずSAI11業務にて
情報呼び出します。

SAI(輸入貨物情報訂正) 入力画面

共通部 繰返部

B/L番号* OTH01234567890

訂正理由* 6

保税運送承認番号 NACCS100-1

搬入日時 2012/02/17 - __: __

船舶 9999 - ZEIKAN MARU

船卸港 JPTYO 入港日* 2012/02/17 船積港 CNSHA

最終仕向地 JPTYO - TOKYO - TOKYO

荷送人 _____

名称 NACCS CHINA CO., LTD.

住所 999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

住所 999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

SAI画面で訂正箇所を上書きします。

保税蔵置場

記号番号の
タイプミス!



- 1: 個数・重量・容積の入力ミスのため
- 2: 個数・重量・容積のカウントミスのため
- 3: 税関に事故を通知した
(事故税関通知識別: Zを入力した) 貨物に関する訂正のため
- 4: 品名に誤りがあるため
- 5: 貨物の記号番号に誤りがあるため
- 6: その他の理由のため
- S1: 個数・重量・容積の入力ミスのため
- S2: 個数・重量・容積のカウントミスのため
- S3: 税関に事故を通知した
(事故税関通知識別: Zを入力した) 貨物に関する訂正のため
- S4: 品名に誤りがあるため
- S5: 貨物の記号番号に誤りがあるため
- S6: その他の理由のため

記号番号

NACCS IN DIA
MADE IN CHINA

個数* 200 - BG 重量* 2000.000 - KGM

ネット重量

容積

原産地

- ・本業務を登録した結果、帳票(SAS0760)の「訂正保留表示」欄が「P(訂正保留)」となった場合は、税関でのCAR(訂正保留解除)が行われるまで後続業務ができません。
- ・本業務で訂正できない項目があります。(次ページ参照)

輸入貨物情報訂正情報

B/L番号 OTH01234567890

訂正保留表示 P

訂正実施者 1AHB7

訂正理由 6

(訂正前)

保税運送承認番号 NACCS100-1

■ SAI業務では訂正できない項目があります。

SAI業務では訂正できない項目例

- ・仮陸揚識別 / 仮陸揚事由コード / 仮陸揚期間 (税関のみ訂正が可能)
- ・船舶コード / 積載船名 / 船卸港コード (但し、システム外搬入確認により登録された場合は SAI業務により訂正が可能)

■ SAI業務を実施する際には、通関などの他利用者の作業が進んでいないか、注意が必要です。

 「**輸入申告事項登録(IDA)**」業務が既に行われている場合、SAI業務を行っても輸入申告情報の下記の項目は訂正されません。貨物情報と輸入申告情報の内容を一致させるため、別途通関業者が輸入申告情報の訂正も行う必要があります。

輸入申告情報の訂正も必要な項目

- ・船舶コード、積載船名、入港年月日、船卸港コード、船積港コード
- ・荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人郵便番号、荷受人電話番号
- ・個数、個数単位コード、総重量、重量単位コード、記号番号

主な照会業務

■ ICG業務 貨物情報照会

- 個数、重量、品名等の貨物情報や通関状況及び保税地域等への搬出入状況を貨物管理番号(B/L番号)単位に照会することができます。

指定情報欄にコードを入力することにより、詳細情報を照会可能
※入力がない場合、全体(TTL)情報が照会される

貨物管理番号*

指定情報

(指定情報)

TTL : 全体情報	DCL : 輸出入許可情報
SMR : 概要情報	PRM : 保税運送申告等税関手続情報
CON : 貨物状況情報	VAN : コンテナ貨物情報
SHP : 荷送受人情報	DPR : 船積情報
ENT : 搬入予定情報	RSH : 積戻し貨物到着時情報
BND, XXXXX	ARR : 船卸情報
: 入出庫管理情報	DMG : 事故情報
TRN : 搬出入情報	HAN : 搬入時申告情報
DIT : 輸出入申告関連情報	FTM : フリータイム情報
OLT : 保税運送関連情報	AMR : 出港前報告情報

■ ICG 貨物情報照会 結果(全体情報上段)

(全体情報)

貨物管理番号 指定情報
 次貨物管理番号 次指定情報
 最新更新日時 最新更新業務 最新更新利用者 最新更新日時

最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者	最新更新日時
2017/09/05 - 16:11:01	CEW	1T999	/ / - : :
2017/09/05 - 16:10:59	BIC	1H999	/ / - : :
2017/09/05 - 15:22:57	EDC	1T999	/ / - : :
2017/09/05 - 15:21:07	ECR	1T999	/ / - : :
/ / - : :			/ / - : :

貨物状況 荷渡可能表示 貨物種別

積戻し貨物表示 積戻し輸出管理番号
 混載表示 マスターB/L番号
 仕分仕合表示 仕分親貨物管理番号
 荷受形態 荷渡形態 運送形態 搬入種別 通関種別 事故確認表示

記事
 品名 代表品
 記号番号

総個数 - 総重量 - ネット重量 - 総容積
 原産地 最終仕向地

貨物情報登録者 船会社 船舶代理店 通関業
 危険貨物 ブッキング番号 社内整理番号
 船舶 - 運航船会社航海番号
 航海番号

入港日 船卸港 船卸場所
 出港予定日 船積港 船積場所

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示されます

- ・最新更新業務: 業務コードを表示
- ・最新更新利用者: 利用者コードを表示

貨物種別を表すコードが表示されます

22=輸出貨物(積戻し貨物を含む)
23=輸入貨物 28=仮陸揚貨物

貨物状況を表すコードが表示されます

EXP=輸出許可済(積戻し許可済を含む)
MAN=貨物手作業移行
TRN=運送中
CCL=船積み確認済み など

通関種別を表すコードが表示されます

N=一般通関 T=システム外許可済
H=本船扱い F=ふ中扱い
S=特定輸出申告、特定委託輸出申告
または特定製造貨物輸出申告

■ ICG 貨物情報照会 結果(全体情報下段)

荷受人 - NACCS U. S. A. COMPANY LIMITED

着荷通知先名 (1)

着荷通知先名 (2)

蔵置場所	搬入日	蔵置個数	発送地	搬出日	搬入先	搬出区分	搬入日
1A99D - <input type="checkbox"/>	2017/09/06	1000	1A99W - <input type="checkbox"/>	2017/09/06	1A99D	LE	2017/09/06
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /

税関手続種別	手続者	許可承認番号	申告申請日	許可承認日	到着地
最新 <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	/ /	<input type="text"/>
その前 <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	/ /	<input type="text"/>

フリータイム日付

コンテナ数

/

コンテナ番号	状況	フリータイム	コンテナ番号	状況	フリータイム	コンテナ番号	状況	フリータイム
<input type="text" value="NACCS00000001"/>	<input type="text" value="F"/>	<input type="text" value="/"/>	<input type="text"/>					

輸出入申告が行われている場合に出力
※ 照会者が照会可能である場合のみ

コンテナ貨物の場合にコンテナの状況を表示コードが表示されます

A=船卸前	E=バンニング済み
B=船卸済み	F=CY搬入済み
C=CY搬出済み	G=船積み処理済み
D=デバンニング済み	

■ ICN業務 コンテナ情報照会

- コンテナ単位にコンテナ情報を照会します。

コンテナ番号*



■ ICN コンテナ情報照会 結果(上段)

コンテナ番号	NACS00000001		
次コンテナ番号*	<input type="text"/>		
最新更新日時	2017/09/06 - 09:48	最新更新業務	CYA
		最新更新利用者	1C999
コンテナ状況	6	輸出入識別	22
		船会社	NAC1
		コンテナオペレーション会社	<input type="text"/>
空/実入	5	サイズ	22
		タイプ	GP
		貨物数	1
荷渡形態	<input type="checkbox"/>	所有形態	<input type="checkbox"/>
		バンニング形態	<input type="checkbox"/>
		マニュアル輸出許可済識別	<input type="checkbox"/>
条約適用識別	<input type="checkbox"/>	卸コンテナ自動抽出対象外	<input type="checkbox"/>
		搬出可能識別	1
船舶コード	9999	航海番号	ABC
		船卸港	<input type="text"/> - <input type="text"/>
積出港	JPTYO	入港年月日	/ /
船卸年月日	/ /	船積年月日	/ /
蔵置場所	1A99D		NACCS (DUMMY) CY
発送地	1A99W		NACCS (DUMMY) HO-CY

空/実入コンテナ識別を出力
4: 空 5: 実入

コンテナの現在の状態をコードで表示します

1: 削除表示	5: 積荷目録提出後、船卸前
2: 差止中	6: 蔵置中
3: 容器通関済(コンテナリスト提出)	7: 運送中
4: 積荷目録提出前	8: バンニング経由中

■ ICN コンテナ情報照会 結果(下段)

手続種別	<input type="text"/>	提出番号等	<input type="text"/>	手続年月日	<input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/>	登録者	<input type="text"/>	コンテナ管理者	<input type="text"/>			
仮陸揚届出官署	<input type="text"/>	仮陸揚事由	<input type="text"/>	仮陸揚期間	<input type="text"/>							
バンニング	場所	地域名	年月日	情報登録者								
1	1A99W	NACCS (DUMMY) HO-CY	2									
2												
3												
4												
5												
シール番号	1	ABC	2		3							
	4		5		6							
ブッキング番号	<input type="text"/>											
事故届出者	<input type="text"/>											
事故	1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>	4	<input type="text"/>	5	<input type="text"/>	事故確認状況表示	<input type="checkbox"/>
... < 1 /10 > ...												
01 貨物管理番号	3219225211											
品名	VEGETABLE PRODUCTS											
個数	1000	-	CT	許可・承認状況	LE							
02 貨物管理番号	<input type="text"/>											

当該コンテナに対して税関手続がされている場合に、その税関手続種別コードを出力
 DCN: 卸コンテナリスト提出
 LCN: 積コンテナリスト提出
 MCI: コンテナ輸入許可
 OLC: コンテナ容器保税運送承認
 KRR: 仮陸揚空コンテナの仮陸揚届出

当該コンテナに紐づいているB/L番号、または貨物管理番号

- ICG・ICNなどの照会業務により表示された記号番号等のうち、別の照会業務を実施可能な場合にその照会業務を自動起動することができます。



申告種別 LE

申告番号 13968395810

税関手続種別 手続者

最新

その前

フリータイム日付 /

コンテナ数 1

コンテナ番号 状況 フリータイム

NACS00000001 F /

業務リンク(L)

オートコンプリート履歴クリア(E)

元に戻す(U)

切り取り(T)

コピー(C)

行のコピー(K)

行の貼り付け(H)

行の挿入(I)

行の削除(R)

画面クリア(D)

表データの保存(G)

全チェックボックスをチェックする(O)

全チェックボックスのチェックを解除する(N)

フィールド属性表示(F)

コンテナ番号 状況 フリータイム

表示されたリンクメニューから照会業務を選択します

INV (混載貨物情報照会)

IID (輸入申告等照会)

IEX (輸出申告等照会)

IEU (別送品輸出申告照会)

IOL (保税運送申告照会) 最新

IOL (保税運送申告照会) その他

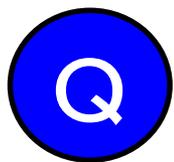
ICN (コンテナ情報照会)

ここで右クリック

ここで右クリック

問合せ事例集

コンテナ単位でB I Aする際の搬入識別の入力方法について

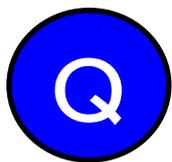


コンテナ3本口の貨物があります。今回の台風の影響で一部のコンテナ（2本）が先に到着し申告に入る予定です。先行到着したコンテナについて、コンテナ単位でのBIA「B」（搬入確認登録(保税運送貨物)）の搬入は可能でしょうか。



先行到着分のコンテナについては、BIA(搬入確認登録(保税運送貨物))にて、「搬入識別」：「B」「番号」：「到着分コンテナ番号」のみ入力して搬入を行って下さい。その後、CHJ(貨物情報仕分け)業務にて先行到着仕分けが実施可能です。

税関による「MEK：減却承認」後の処理について

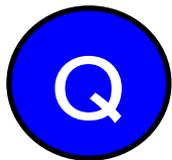


先日の台風の影響で実入りコンテナが浸水してしまった為、
廃棄作業を行い税関により減却承認された状態ですが、
この後は、どのような処理を行えばよいでしょうか。



保税蔵置場にてBOB（搬出確認登録（貨物引取り））
「区分：9」により搬出確認を行ってください。
当該貨物情報は、2日間（日祝除く）で削除されます。

輸出許可後、一部不積みとなった場合の対応について

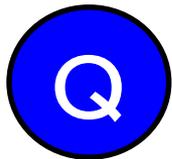


1つの輸出管理番号に、5つのコンテナが紐づく貨物があります。台風の影響で一部コンテナの配送困難となりました。
 (2本搬入、3本留め置きの状態) 本日がカット日で翌日には出港します。その場合、どのように処理すればよいのでしょうか。



コンテナ単位で不積み分と仕分け (SHS(貨物取扱登録(改装・仕分け))を輸出許可後に実施することが可能です。
 仕分け後、枝番「A」に申告情報が引き継がれ枝番「B」は内貨(内国貨物)に戻ります。
 申告情報が引き継がれた枝番「A」は、通関業者にて輸出許可後訂正を実施することが可能です。枝番「B」を内国貨物として引き取る場合には、BOB業務「9」により、搬出することができます。

BOC(搬出確認登録(輸出許可済))後、搬入方法



輸出許可後、東京港でバンニングする予定が台風の影響で急遽変更となり、横浜の蔵置場でバンニングすることになりましたが、どのようにして搬入したらいいでしょうか。



既に東京の蔵置場に搬出済みであれば、BOC業務にて搬出の取り消しを実施いただき、再搬出の上、BID(搬入確認登録(輸出許可済))業務により、横浜の蔵置場にて搬入を実施することが可能です。

災害時等における管理資料の取得について



台風の影響で当事業所はNACCSが使用できない状況です。管理資料の配信日から7日経過しており、復旧の目途もたっていません。再取り出し期間の62日ではどうにもならないかもしれません。



「保稅管理資料保存サービス（月額1,000円）」をお申し込み場合、対象の保稅管理資料について「**5年間**」の保存が可能となり、62日間を過ぎた場合でも、対象の管理資料の取り出しが可能です。

保存された管理資料は、DLH01（保稅管理資料再出力依頼情報登録・変更）業務にて取り出しが可能です。

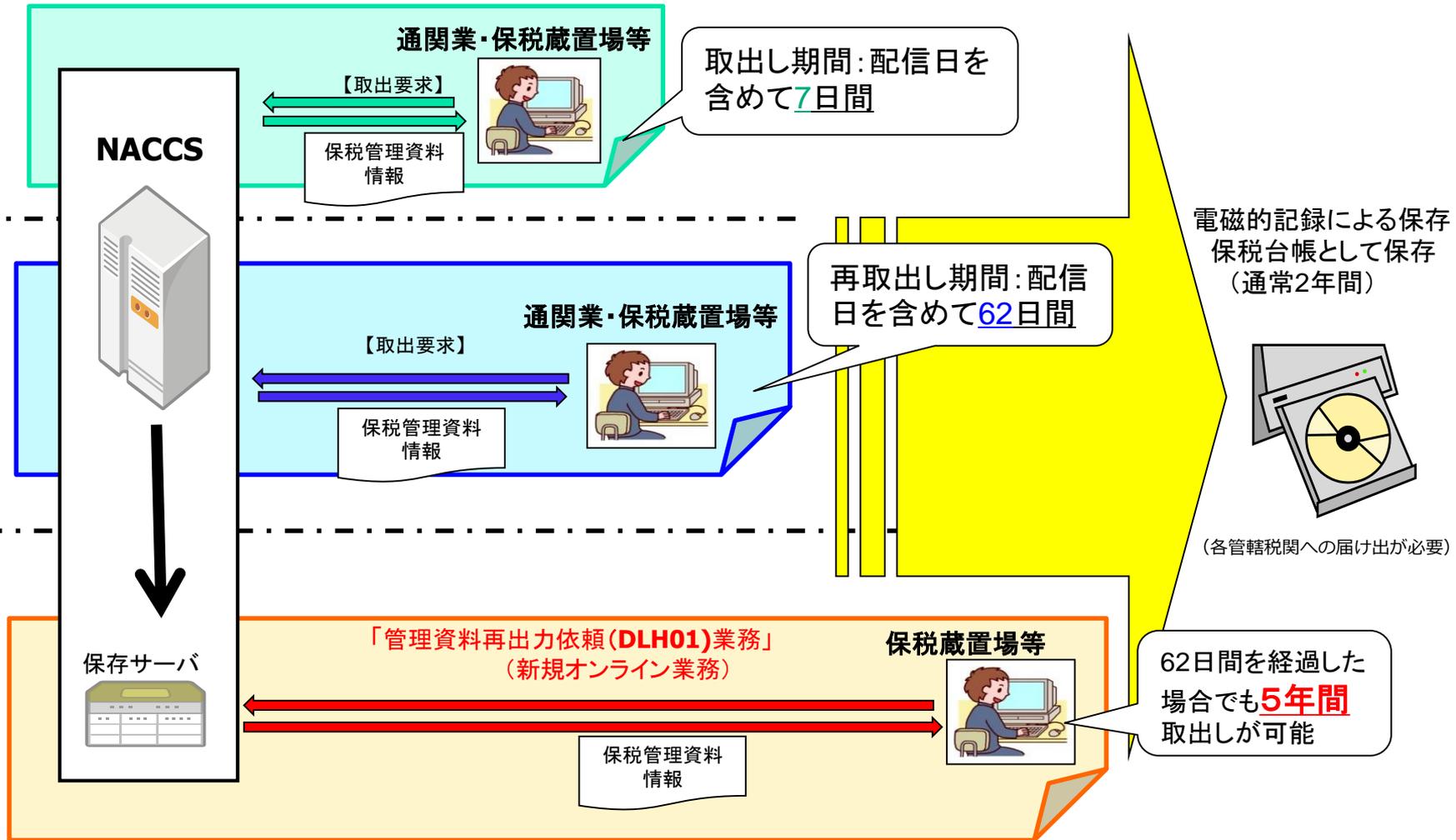
保税管理資料保存サービス

保税管理資料保存サービスについて

通常時

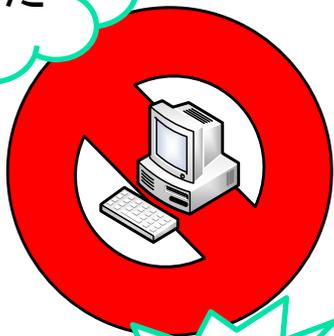
再取出し

保存サービス利用



「保税資料保管サービス」の有効な事例

壊れた



故障

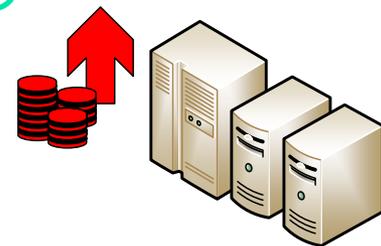
BCP対策
バックアップ対策

取得忘れ



取得漏れリスク回避

- ・ 運用コスト
- ・ 開発コスト
- ・ 更新作業
etc...



自社システム

コスト削減対策

- ・ 管理資料保存期間経過後（62日経過後）においても管理資料の取り出しが5年間可能！
- ・ 期間指定、帳票指定を行えますので必要なとき、必要な情報のみを取り出すことが可能！

利用可能業種：CY、保税蔵置場、航空会社、機用品業

	業務 仕様書 番号	管理資料名	出力情報コード	周期	備考
1	T19	航空輸入貨物搬出入データ (航空)	ABS6900	日報	
2	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ (航空)	ABS7000	日報	
3	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ (航空)	ABT6300	日報	
4	S14	航空輸出貨物搬出入データ (航空)	ABT6400	日報	
5	G01	輸入貨物搬出入データ (海上)	SBS1400	週報	月曜日配信
6	G05	貨物取扱等一覧データ (海上)	SBS1700	週報	火曜日配信
7	G08	輸入貨物コンテナ関連データ (海上)	SBS1800	週報	月曜日配信
8	G02	輸出貨物搬出入データ (海上)	SBT0200	週報	火曜日配信
9	G09	輸出貨物コンテナ関連データ (海上)	SBT0500	週報	火曜日配信

「1利用者コード」ごとに **月額1,000円**で

保税管理資料を **5年間保存します！！**

【お申込み方法】

利用申込の入力例(変更申込) | 「14. 保税管理資料保存サービスの変更」をご参照のうえ、NSS (NACCSサポートシステム) よりお申込ください。

サポート体制

■ お問い合わせ窓口

事務所	電話番号	FAX番号	運営時間
ヘルプデスク	 0120 - 794 550 (ナ キュウ ヨン コウゴウ セロ)	 0120-794-529	終日

NACCSセンターではヘルプデスクを開設し、24時間・365日体制で問い合わせ対応を行っています。

ヘルプデスクでは、お客様がご利用されるNACCS掲示板に掲載しているコンテンツのご案内を始めとして、お客様からの問い合わせ対応による経験と実績を基に、NACCSのシステム、パッケージソフト及びネットワーク並びに利用申込手続き等について、お客様からの電話等での問い合わせにおける初期対応を担当しています。